

2022年度 全国高校野球OBクラブ連合理事会（第1回）

日時：2022年5月7日（土）14:00～17:00

場所：神戸大学人間発達環境学研究科・中会議室 B

出席者：前崎、宝槻、高山、小川、北野、長ヶ原

欠席者：戒能

事務局：彦次、三浦 リモート出席（谷、松村、松崎）

議事録

14:00より長ヶ原理事長（以下、理事長と称す）の挨拶により開会。理事長より理事会の出席者及び趣旨と議題について次第にもとづき説明された。

議題1）全国高校野球OBクラブ連合加盟状況について

<資料1>全国高校野球OBクラブ連合加盟校一覧

理事長より、全国高校野球OBクラブ連合加盟状況（2022年5月6日現在698校42都道府県の加盟）が報告された。各ブロック理事より、各ブロックにおける加盟・脱退の状況、新規リーグ設立に向けた動向等について報告された。

議題2）2021年度決算報告について

<資料2>2021年度決算報告

理事長より、全国高校野球OBクラブ連合及びマスターズ甲子園2021実行委員会の2021年度決算について報告された。全国高校野球OBクラブ連合の決算について、収入の部では、途中決算時点（総会時）から新規加盟が1校あり、加盟費収入が10,000円増、支出の部では貯蓄費が10,000円増と報告された。マスターズ甲子園2021実行委員会の決算について、収入の部では、写真販売収入が途中決算時点（総会時）から13,100円増、支出の部では事務局運営関連費が17,681円増、最終的に黒字決算であった旨が報告された。北野理事から、監査の結果、2021年度全国高校野球OBクラブ連合収支決算書及びマスターズ甲子園2021収支決算書について相違ない旨が報告された。

議題3）2022年度事業計画について（資料3）

<資料3>マスターズ甲子園2022（第19回大会）プログラム

理事長より、マスターズ甲子園2022（第19回大会）プログラムについて、開催日が2022年11月19日・20日、11月18日に前日式典、12月8日が順延日と決まったことが説明された。プログラムの開始時刻について、阪神甲子園球場との調整の結果、両日8:00に開始されることが報告された。

議題4）2022地方予選大会について（資料4）

<資料4>マスターズ甲子園2022大会地方予選リーグスケジュール

各ブロック理事より、マスターズ甲子園2022大会地方予選リーグの進捗状況について報告された。埼玉県（浦和学院OB）・福島県（日大東北OB）・三重県（海星OB）について、本大会出場が決定したと報告された。理事長より、大阪府大会については、新型コロナウイルス感染対策のため日程非公開にて開催し、報道の規制を行っている旨が報告された。島根県大会については予選大会を中止し合同チームにて出場予定であると報告された。昨年に引き続きコロナ禍における開催となるが、本大会の出場辞退については認めないことを原則とし、地方予選リーグは責任を持って出場チームを派遣することで一致した。

議題5) 2023 大会準備状況について

<資料5-1> マスターズ甲子園 2021 - 2023 シリーズ (マスターズ甲子園 2023 大会追加枠・ブロック枠)

<資料5-2> マスターズ甲子園 2023 (第20回記念大会) 全国高校野球 OB トーナメント

理事長より、2021 - 2023 シリーズ及び 2023 年大会 (第 20 回記念大会) について説明がなされた。2023 年大会の追加枠・ブロック枠の申請期限は 2022 年 9 月 22 日 (木) とし、各種申請関係資料については 7 月中に発送予定であることが確認された。各ブロック理事より、ブロック大会の開催予定について以下の通り報告された。宝槻理事より、北海道・東北ブロックは 2023 年 7 月末～8 月に福島県内にて開催予定と報告された。高山理事より、関東ブロックは 2023 年 5 月下旬～6 月上旬に江戸川球場 (東京都) にて開催を予定と報告された (開催地についてはこれから打診予定)。小川理事より、北信越・東海ブロックは、2023 年 5 月中に北信越大会を長野県内にて開催予定、同じく 2023 年 5 月中に東海大会を開催予定 (開催地未定) であり、2023 年 6 月中に北信越・東海ブロック大会を開催予定 (開催地未定) と報告された。北野理事より、近畿ブロックは 2023 年 8 月中旬 (お盆頃) に和歌山県内にて開催予定と報告された。戒能理事の代理として理事長から、中国・四国ブロック大会を 2023 年 8 月に愛媛県内にて開催予定と報告された。前崎理事から九州・沖縄ブロックは 2023 年 8 月中旬 (お盆頃) に熊本県内にて開催予定と報告された。東日本大会については、2023 年 8 月 27 日 (日) に県営保土ヶ谷球場 (神奈川県) にて開催予定、西日本大会は 2023 年 9 月 2 日 (土) に紀三井寺球場 (和歌山県) にて開催予定 (雨天順延日: 9 月 3 日 (日)) であることが確認された。いずれの大会も雨天順延日を確保しておく方針で一致した。また、各球場の使用可否の最終決定については 2023 年 1 月～2 月頃になる旨が確認された。各ブロック理事はそれぞれの大会準備を進め、6 月末までに大会開催期日と使用球場を確定し、7 月中に資料送付を行なうことが確認された。また、ブロック大会出場チームの年会費について、8 校未満の地方予選リーグからの出場校については「ブロック大会に出場する場合、年会費は 2023 年から発生する」、「出場した加盟校のみが、2023 年から年会費の対象となり、翌年以降も支払う (他の加盟校は年会費の対象とはならない)」ことが確認され、募集要項にも明記することで一致した。

議題6) その他

<資料6> 高山理事提出資料一式

高山理事より前回の理事会の議論を踏まえ、各幹事校の位置づけと役割、及び神奈川県高校野球 OB 連合における休会の扱い等について説明がなされた。都道府県大会やブロック大会などは本大会のためだけにやるのではなく、複数年に一度しかない本大会に向けたモチベーションの維持や、マスターズ甲子園大会のプロモーション・活性化のために開催するものとして、幹事校が牽引していく役割を持つことが示された。休会の取り扱いについて、全国高校野球 OB クラブ連合においては、「休会」という扱いは存在しないが、他の地方予選リーグにおける運営体制の参考情報として、神奈川県における「休会」の事例が報告・共有された。また、学校の統合について、統合前後のどちらの学校名を使用するかは各加盟校の判断に委ねられること、廃校の場合における人数の不足は合同チームの結成により補うことが可能であることが確認された。宝槻理事より、福島県における野球連盟への加盟の可否について質問があり、全国高校野球 OB クラブ連合として地方予選リーグが各都道府県内の組織へ加盟することに支障は無いことが確認された。

以上をもって議案の審議が終了し、理事長により 16:50 に散会。